



当社は文部科学省が推進する
「土曜学習応援団」に賛同しています。

土曜学習応援団

小学校用

明治安田生命

金融・保険教育の 出前授業を承ります

オリジナル教材をもとに、金融リテラシーが身につく授業を行います！

2020年度より施行された学習指導要領（小学校家庭科）では、「物や金銭の大切さと計画的な使い方」「売買契約」といった金融に関わる学習事項が追加されました。また、OECDの学習到達度調査でも、生活スキルの1つとして金融リテラシーが挙げられており、金融教育への社会的な期待が高まっています。

そこで、明治安田生命は、家庭科や社会科、特別活動等の授業で活用できる金融・保険教育の教材を新たに開発し、この教材を活用した当社職員による出前授業を承ります。お金や、リスクに備える保険といった金融に関するテーマを通して日常生活を捉え直し、子どもたちが多角的な価値観をもってかしく行動するためのきっかけづくりにご利用ください。

- ✓ 基礎的な金融リテラシーに加えて、リスクと保険の仕組みについて学べる内容です
- ✓ 授業で使うテキストは、必要数を当社がご用意いたします
- ✓ 費用はかかりません（無料）

お申し込みから授業実施まで

お申し込みはこちらから



二次元コードを読み込んでもメールソフトが起動しない場合は、
下記のアドレスを直接入力してお申し込みください

finance-edu2@meijiyasuda.co.jp

明治安田生命保険相互会社
ブランド戦略部 地域共創企画室



- ① 上記窓口にメールでお申し込みください。
- ② 担当者から折り返しご連絡し、ご希望の日時やテーマなどを打ち合わせさせていただきます。
- ③ 日時やテーマ等を決定した後、担当者が学校を訪問して出前授業を実施いたします。

教材で扱うテーマや特長は裏面をご覧ください▶▶▶

基礎的な金融リテラシーが身につく6つのテーマ

本教材は家庭科や社会科、特別活動等の学習指導要領に対応した「契約」「お金の使い方」「計画的な金銭管理」「消費者トラブル」「リスクと保険」「持続可能な暮らし」の6つのテーマで構成しております。

各教科の学習指導要領との関連

テーマ	目標	学習指導要領との関連	
		家庭科	社会科
1. 契約	売買契約の意味や、どの時点で契約が成立するかが分かる。	C 消費生活・環境 (1) 物や金銭の使い方と買物 ア(ア) 買物の仕組みや消費者の役割	(第3学年及び第4学年) 2 内容 (1) 地域の人々の生活 地域の社会生活を営む上で大切な法やきまり
2. お金の使い方	支出をする前に、必要な物と欲しい物とを分けて考えることができる。	C 消費生活・環境 (1) 物や金銭の使い方と買物 ア(ア) 物や金銭の大切さ、計画的な使い方	(第3学年及び第4学年) 2 内容 (1) 地域の産業や消費生活の様子
3. 計画的な金銭管理	使えるお金には限りがあることを理解し、お金を計画的に使うための管理のしかたを考えることができる。	C 消費生活・環境 (1) 物や金銭の使い方と買物 ア(ア) 物や金銭の大切さ、計画的な使い方	(第3学年及び第4学年) 2 内容 (1) 地域の産業や消費生活の様子
4. 消費者トラブル	オンラインゲームや配信サービスでのトラブルの内容や、サービスを利用する際の注意点が分かる。	C 消費生活・環境 (1) 物や金銭の使い方と買物 ア(イ) 身近な物の選び方、買い方、情報の収集・整理	(第3学年及び第4学年) 2 内容 (1) 地域の産業や消費生活の様子
5. リスクと保険	リスクに対する備えとしての保険の仕組みが分かる。	C 消費生活・環境 (1) 物や金銭の使い方と買物 ア(イ) 身近な物の選び方、買い方、情報の収集・整理	(第3学年及び第4学年) 2 内容 (1) 地域の産業や消費生活の様子
6. 持続可能な暮らし	毎日の生活と社会のつながりを理解し、持続可能な社会を実現するために、環境に配慮した暮らし方を考えることができる。	C 消費生活・環境 (2) 環境に配慮した生活 ア 身近な環境との関わり、物の使い方 イ 環境に配慮した物の使い方の工夫	(第3学年及び第4学年) 2 内容 (1) 地域の産業や消費生活の様子、人々の健康な生活や良好な生活環境及び安全を守るための諸活動

教材の特長

授業で児童に配付し使用するテキストは、身近な事例をもとに知識を深めていけるように設計しています。授業の後は家庭に持ち帰り、家庭での自主学習に繋げることができます。

